

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	世界ドーピング防止機構等関係経費	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者			
事業開始 終了(予定)年 度	平成13年度	担当課室	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 芦立 訓			
会計区分	一般会計	施策名	XI-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止 に関する国際規約」第14条	関係する計画、 通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	ドーピングは、競技者の健康を損ね、スポーツの価値を損ねるなどの問題があり、世界的規模での幅広い防止活動が求められている。我が国は、世界ドーピング防止機構(WADA)のアジア地域代表常任理事国として、またユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、WADA常任理事会・理事会などの国際的な活動に参画することによって、ドーピング防止活動の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、規程、国際基準、予算、決算等について要求、助言、折衝、承認等を行う。 (2)ユネスコ規約締約国会議に出席し、ユネスコの活動、規約・附属文書等について要求、助言、折衝、承認等を行う。 (3)ドーピング防止に関するアジア地域政府間会議に出席し、アジア地域における活動、WADAへの拠出金について要求、助言、折衝、承認等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	18	20	20	25	23
		補正予算	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0		
		計	18	20	20	25	23
	執行額	17	23	20			
執行率(%)	94.4%	115.0%	100.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、当該年度に開催されるWADA常任理事会・理事会、アジア政府間会議等に出席し、アジア地域代表常任理事国としてWADAの活動、予算等について、要求、助言、折衝、承認等を行い、ドーピング防止活動の推進に資することを主な目的としており、定量的な指標はなじまない。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	(1)WADA常任理事会・理事会出席回数	活動実績 (当初見込み)	回	3	4	3 (4)	- (4)
	(2)ユネスコ規約締約国会議出席回数	活動実績 (当初見込み)	回	0	1	0 (2)	- (2)
	(3)ドーピング防止に関するアジア地域政府間会議出席回数	活動実績 (当初見込み)	回	1	1	2 (1)	- (1)
単位当たり コスト	(1)WADA常任理事会・理事会出席1回当たりのコスト(4,561,602円/1団体)	算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度世界ドーピング防止機構等関係経費(WADA常任理事会・理事会)執行額(13,684,806円)/国際会議出席回数(3回)				
	(2)ユネスコ規約締約国会議出席については、平成22年度は出席実績なし	算出根拠					
	(3)ドーピング防止に関するアジア地域政府間会議出席1回当たりのコスト(3,331,157円/1団体)	算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度世界ドーピング防止機構等関係経費(アジア地域政府間会議)執行額(6,662,313円)/国際会議出席回数(2回)				
2 3 ・ 2 4 年度 予算	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	13百万円	11百万円				
	庁費	12百万円	12百万円				
	計	25百万円	23百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・予算の執行については、同時通訳や資料翻訳等の役務業務について一般競争入札を行うことで、コストの削減に努めている。</p> <p>・事業の活動実績については、WADA常任理事会・理事会、アジア政府間会議等に全て出席し、アジア地域代表常任理事国として責任を果たしている。</p> <p>・事業成果としては、世界ドーピング防止機構の会合にアジア地域代表常任理事国として出席し、国際スポーツ界が目指すドーピングのないクリーンなスポーツの実現に向けた提言や活動を行うことにより、我が国が国内及びアジア地域内におけるドーピング防止活動に積極的に取り組み、ドーピングの撲滅に貢献していることを国際スポーツ界に明確に示すことができた。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点：本事業は、我が国が世界ドーピング防止機構(WADA)のアジア地域代表常任理事国として、またユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、WADA常任理事会・理事会などの国際的な活動に参画することによって、ドーピング防止活動の推進を図る事業であり、事業開始から11年以上経過していることから、長期継続契約や予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：①ドーピング防止活動については、平成21年度の事業仕分けにおいて、国が行うべき事業であるとの指摘がなされている。</p> <p>②我が国は、世界ドーピング機構のアジア地域代表常任理事国として、世界各地で開催される各種会議への参加義務があり、当面、現在の予算規模を維持せざるを得ないと考える。これを前提としつつも、今後において予算執行の効率化の観点から、各種役務業務に関する競争性の向上を高めること等により、予算の縮減が可能か検討すべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		<p>平成24年度の各種国際会議開催予定を踏まえ、積算単価を見直し、概算要求に▲2.232百万円反映した。</p> <p>また、役務業務に関しては、契約にあたって、公募期間の延長など、さらなる競争性の確保に努める。</p>	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

文部科学省
20百万円

外国旅費 10百万円
庁費 1百万円

を含む

- (1)WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、規程、国際基準、予算、決算等について要求、助言、折衝、承認等を行う。
- (2)ユネスコ規約締約国会議に出席し、ユネスコの活動、規約・附属文書等について要求、助言、折衝、承認等を行う。
- (3)ドーピング防止に関するアジア地域政府間会議に出席し、アジア地域における活動、WADAへの拠出金について要求、助言、折衝、承認等を行う。



【一般競争・請負】

A. 日本コンベンションサービス(株)
9百万円

WADA常任理事会等国際会議に係る同時通訳
業務・同時通訳者の手配、派遣

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

A.日本コンベンションサービス(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
通 訊 費	国際会議における同時通訳業務	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.WADA常任理事会等国際会議に係る同時通訳業務

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本コンベンションサービス(株)	WADA常任理事会等国際会議に係る同時通訳業務・同時通訳者の手配、派遣	9	5	—